

ふりがな

ふくとみ みつひさ

氏名

福富 満久

## 1. 学歴

早稲田大学 政治経済学部 政治学科 卒業（在学中 Sciences Po パリ政治学院 留学）  
2003年4月 早稲田大学大学院 政治学研究科 修士課程 入学  
2003年12月～04年4月 Sciences Po パリ政治学院 20世紀ヨーロッパ歴史資料センター 留学  
2005年3月 早稲田大学大学院 政治学研究科 修士課程 修了  
2005年4月 早稲田大学大学院 政治学研究科 博士後期課程 入学  
2006年9月 Sciences Po パリ政治学院 Programme doctoral Relations internationales 入学  
2009年11月 Sciences Po パリ政治学院 Programme doctoral Relations internationales 修了  
2010年3月 早稲田大学大学院 政治学研究科 博士後期課程 修了

## 2. 職歴・研究歴

2007年12月1日～09年4月15日 外務省所管財団法人 中東調査会リサーチフェロー  
2009年4月16日～12年3月31日 財務省所管財団法人 国際金融情報センター主任エコノミスト  
2012年4月1日～15年3月31日 一橋大学大学院 社会学研究科 准教授  
2015年4月1日～現在 一橋大学大学院 社会学研究科 教授  
2015年8月1日～16年3月31日 UCSB カリフォルニア大学サンタバーバラ校 オルファレア国際問題研究センターリサーチフェロー  
2019年8月1日～20年7月31日 KCL ロンドン大学キングス・カレッジ 戦争学研究科シニアリサーチフェロー

## 3. 学内教育活動

### (A) 主な担当講義名

(a) 国際正義論

(b) 国際正義論

地球社会研究

### (B) ゼミナール

学部後期、大学院

## 4. 主な研究テーマ

国際政治学 安全保障 平和・紛争学 軍事介入 グローバル・ジャスティス 中東問題

## 5. 研究活動

### A. 業績

(a) 著書・編著

- ・『戦火の欧州・中東関係史—収奪と報復の200年』, 東洋経済新報社, 2018.5.11
- ・『G ゼロ時代のエネルギー地政学—シェール革命と米国の新秩序構想』, 岩波書店, 2015.1.22
- ・『岩波テキストブックス 国際平和論』, 岩波書店, 2014.9.26
- ・『L'autoritarisme dans la structure politico-économique internationale』, Dictus Publishing, 2012.7.31
- ・『中東・北アフリカの体制崩壊と民主化—MENA 市民革命のゆくえ』, 岩波書店, 2011.10.18

## (b) 論文

- ・「『軍事介入の論理』 NATO と中東—欧州の外と内にある敵」日仏政治学会編『日仏政治研究』 第巻第 13 号, p.29-38, 2019.3
- ・「独立住民投票監視：イラク・クルド自治区のその後」『中東協力センターニュース』 第 43 巻第 3 号, p.20-28, 一般財団法人中東協力センター, 2018.6
- ・「英国の中東新戦略「The Middle East : Time for New Realism」とは何か」『中東協力センターニュース』 第 42 巻第 5 号, p.21-29, 一般財団法人中東協力センター, 2017.8
- ・“Humanitarian Intervention in Libya: Is It Causing Internal War ?” *Hitotsubashi Journal of Law and Politics* (45), p.23-32, Hitotsubashi University, 2017.2
- ・「リビアで何が起きているのか」『海外事情』 第 64 巻第 9 号, p.46-62, 拓殖大学海外事情研究所, 2016.9
- ・「『軍事介入の論理』 M. ウォルツァーと M. イグナティエフ—シリア問題に寄せて—」『一橋社会科学』 第 5 巻第号, p.29-46, 一橋大学大学院社会学研究科, 2013.8
- ・「植民地、資源、内戦—アルジェリア、リビア、そしてシリア—」『海外事情』 第 61 巻第 7・8 号, p.77-95, 拓殖大学海外事情研究所, 2013.7
- ・「『アラブの春』その後 エジプト民主政移行への三つの焦点」『外交』 通巻 12 号, p.100-105, 外務省、都市出版株式会社, 2012.3
- ・「カダフィ政権崩壊と未来—民主化というグローバリゼーションの中で—」水谷周編『アラブ民衆革命を考える』, p. 138-162、253-262, 国書刊行会, 2011.10
- ・「リビア内戦と『保護する責任』—コンストラクティヴィズムの射程と軍事介入—」『国際問題』 通巻 605 号, p.29-37, 日本国際問題研究所, 2011.10
- ・「中東・北アフリカにおける民主化とインターネットのインパクト」『国際金融』 通巻 1224 号, p.42-48, 外国為替貿易研究会, 2011.5
- ・「EU の新世代エネルギー戦略—『欧州版グリーン・ニューディール』構想—」『国際金融』 通巻 1204 号, p.84-91, 外国為替貿易研究会, 2009.9
- ・「新生リビアの実像—レンティア国家論に基づく一考察—」『中東学会年報』 通巻 2008 年度 24-1 号, p.167-189, 中東学会, 2008.6
- ・「石油・天然ガス資源大国アルジェリア—その光と影を見つめて—」『中東研究』 通巻 500 号, p.61-73, 中東調査会, 2008.6
- ・「中東・北アフリカをめぐる民主化研究—オリエンタリズム的リサーチ・フィールドから国家へのアプローチへ—」『早稲田政治公法研究』 通巻 82 号, p.67-100, 早稲田大学大学院政治学研究科紀要, 2006.8
- ・「持続する独裁制と経済運営—チュニジア (1961-2004) —」『早稲田政治公法研究』 通巻 81 号, p.59-80, 早稲田大学大学院政治学研究科紀要, 2006.4

## (d) その他

[研究・調査報告書]

- ・『米中 2 極構造下での資源エネルギー環境の変化と 地政学リスクへの対応』, 日本機械輸出組合 平成 27 年度

エマージング市場対策事業研究報告論文, 2017.5

- ・『中東地域の地政学的展望調査』, JBIC 国際協力銀行業務委託報告書, 2013.3
- ・『中国、韓国、アメリカの対アフリカ戦略とサブサハラ諸国の市場潜在力—日系企業の事業機会を探る—』, 日本機械輸出組合 平成 24 年度エマージング市場対策事業研究報告論文, 2013.3
- ・『中東・北アフリカ諸国の政治構造の変容と経済展望』, 日本機械輸出組合 平成 23 年度エマージング市場対策事業研究報告論文, 2012.4

[書評・新刊紹介]

- ・(書評) 松本弘著『アラブ諸国の民主化: 2011 年政変の課題 (イスラームを知る 23)』 (山川出版社, 2015 年), 『京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科付属イスラーム地域研究センター イスラーム世界研究』通巻 9 号, 2016.3
- ・(書評) マイケル・イグナティエフ著『火と灰』 (風行社, 2015.2.10), 『図書新聞』 通巻 3206 号, 2015.5.9

[辞書・辞典等の項目執筆]

- ・現代地政学辞典編集委員会編『現代地政学辞典』, 丸善出版株式会社, 2020 (執筆項目: 資源ナショナリズム, 302-303 頁)
- ・松本弘編『中東・イスラーム民主化ハンドブック』, 明石書店, 2011.7.2 (執筆項目: アルジェリア チュニジア リビア, 42-57, 58-79, 80-87 頁)

## B. 本研究科着任後の研究活動 (着任 2012 年)

### (a) 国内外学会発表

- ・「選挙、民主化、民主主義の定着—中東・北アフリカにおける民主化の実態と独裁の均衡」, 日本中東学会第 24 回年次大会, 2008.5, 千葉大学
- ・「Realité de la Démocratisation du Moyen-Orient et l’Afrique du Nord」, Séminar de RI organisé par Sciences-Po Paris, 2007.4, L’Institut d’Études Politiques de Paris

### (b) 国内研究プロジェクト

- ・科学研究費助成事業 (学術研究助成補助金) 基盤研究 B (海外調査), 「NATO における人道的介入の論理—その思想・理論・現実—」 (研究代表者), 日本学術振興会, 2017.4.1-2021.3.31
- ・一橋大学教員等海外派遣事業, 「米国と NATO: その秩序構築の思想・理論・現実に関する研究」 (研究代表者), 公益財団法人一橋大学後援会, 2015.8.5-2016.3.30
- ・科学研究費助成事業 (学術研究助成基金) 基盤研究 C, 「米国の安全保障における 2 つの世界戦略—オフショア戦略とエネルギー獲得戦略」 (研究代表者), 日本学術振興会, 2014.4.1-2017.3.31
- ・科学研究費補助金・研究活動スタート支援, 「『民族紛争の解決と複合型パワーシェアリング』—政策実践の分析と戦略の研究」 (研究代表者), 日本学術振興会, 2012.8.31-2014.3.31
- ・JBIC 国際協力銀行調査業務委託, 「中東地域の地政学的展望調査」 (研究代表者), JBIC 国際協力銀行, 2013.1.24-2013.3.29
- ・平成 24 年度エマージング市場対策事業調査業務委託, 「中国、韓国、アメリカの対アフリカ戦略とサブサハラ諸国の市場潜在力—日系企業の事業機会を探る—」 (研究代表者), 日本機械輸出組合, 2012.11.8-2013.3.31
- ・平成 23 年度エマージング市場対策事業調査業務委託, 「中東・北アフリカ諸国の政治構造の変容と経済展望」 (研究代表者), 日本機械輸出組合, 2011.12.1-2012.3.31

## 6. 学内行政

### (A) 役員・部局長・評議員等

専攻主任

### (B) 学内委員会

一橋社会科学 編集委員 (副編集長)

## 7. 学外活動

### (a) 他大学非常勤講師等

2010年4月1日～現在 青山学院大学 総合文化政策学部

(国際政治学概論／国際平和論／平和思想の系譜)

2015年7月1日～現在 早稲田大学エクステンションセンター

(国際政治と中東社会／中東湾岸情勢と IS テロ／グローバルリスク化する中東の混迷／戦火の中東イスラームと国際政治／国際正義と平和の思想／戦火の欧州・中東・イスラーム関係史)

2019年4月1日～現在 青山学院大学 国際政治経済学部

(国際政治学特講II)

[客員研究員他]

2007年12月1日～16年12月31日 東京大学拠点 人間文化研究機構 (NIHU) プログラム「イスラーム地域研究」(2006～16年)「イスラームの思想と政治：比較と連関」グループ2「中東政治の構造変容：研究情報の組織化に向けて」協力研究員

2008年6月1日～11年3月31日 筑波大学北アフリカセンター 客員研究員

### (b) 所属学会および学術活動

国際政治学会 日本比較政治学会 日本中東学会 政治経済学会 日仏政治学会

### (c) 公開講座・市民講座

- ・「グローバルリスク化する中東の混迷：中東と国際政治」、佐倉市国際文化大学, 2019.6, 千葉県佐倉市公民館
- ・「環地中海地域としての中東」、第1回中東講演会, 2018.9, JICA 国際協力機構
- ・「マクロン大統領と中東政策—マクロン政権の1年を検証する」、日仏政治学会, 2018.8, 明治大学駿河台キャンパス アカデミーコモン
- ・「これからの中東情勢と展望」、名古屋経済倶楽部, 2018.3, 名古屋東京第一ホテル錦
- ・「第3回 世界で何が起きているのか—国際政治と理想、制度、構造—」、平成29年度茨城県弘道館アカデミー—県民大学後期講座, 2017.11, 茨城県鹿行生涯学習センター・茨城県女性プラザ
- ・「第2回 世界で何が起きているのか—米国の覇権と中国の台頭—」、平成29年度茨城県弘道館アカデミー—県民大学後期講座, 2017.10, 茨城県鹿行生涯学習センター・茨城県女性プラザ
- ・「第1回 世界で何が起きているのか—テロリズム・シリア内戦・民主主義—」、平成29年度茨城県弘道館アカデミー—県民大学後期講座, 2017.10, 茨城県鹿行生涯学習センター・茨城県女性プラザ
- ・「共存共栄主義から—国主義へ—トランプ大統領と世界—」、小金井市市民講座, 2017.10, 小金井市市民会館

- ・「中東における米国の覇権主義と安全保障—シェール革命が変える国際政治—」, 一橋大学社会学部・読売新聞立川支局共催連続市民講座, 2014.10, 一橋大学兼松講堂
- ・「アジアの政治と経済 : G ゼロにおけるアメリカと中国—国際政治学からアジアを相対化する—」, 2012 年度青山学院大学・渋谷区教育委員会共催公開講座「新しいアジアを知ろう」第 4 回, 2012.12, 青山学院大学青山キャンパス 17 号館

## 8. 官公庁等各種審議会・委員会等における活動

- 2018 年 4 月～現在 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の社会科学専門委員として防衛大学の修士・博士課程修了者の論文審査に携わる
- 2018 年 11 月～2019 年 10 月 日本学術振興会科学研究費委員会専門委員（審査員・基盤研究（C）（国際関係論関連）

## 9. 一般的言論活動（新聞や各種メディア）

- ・「米バイデン新政権と中東の地政学的展望」, 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券 機関投資家向けセミナー, 2020.12, Webex
- ・「未来世紀ジパング—オーストラリアを巡る地政学」, ゲスト, 2017.7, テレビ東京
- ・「米中 2 極構造下での資源エネルギー環境の変化と地政学リスクへの対応」, 平成 29 年度第 2 回エマージング市場委員会, 2017.7, 日本機械輸出組合
- ・「ザ・ボイス」, ラジオ局ニッポン放送コメンテーター, 2017.7, ニッポン放送
- ・「EU とこれからの国際情勢について」, ラジオ局ニッポン放送火曜日コメンテーター宮崎哲弥氏「ザ・ボイス」ゲスト, 2017.6, ニッポン放送
- ・「グローバルリスク化する中東の混迷」, 埼玉県経営者協会幹事会特別講演会, 2017.3, パレスホテル大宮
- ・「米中 2 極構造と地政学リスクへの対応」, 第 50 回経営課題研究委員会, 2017.2, 一般社団法人日本機械工業連合会
- ・「中東情勢の展望と大国イランの動向」, 平成 28 年度第 3 回成長市場対策委員会, 2016.9, 日本機械輸出組合大阪支部
- ・「2016 年の中東情勢と今後の展望」, 平成 28 年度第 2 回エマージング市場委員会, 2016.6, 日本機械輸出組合
- ・「激動するイスラム世界と国際政治」, 如水会大阪支部「関西＜知と業＞のフロンティア」, 2016.5, 関西文化サロン
- ・「中東情勢とリビア IS について」, 警察庁国際テロリズム対策課, 2016.4, 警察庁
- ・「グローバルリスク化する中東の混迷—地政学から読み解く」, 日本経済研究センター, 2016.2, 日本経済新聞社本社
- ・「チュニジアのテロとその背景について」, NHK NEWS WEB 解説, 2015.3, NHK
- ・「民主体制の総仕上げとなるか、チュニジア議会選挙」, NHK 国際放送局 NHK World, 2014.10, NHK
- ・「2014 年中東情勢と今後の展望」, 平成 26 年度第 3 回エマージング市場委員会, 2014.7, 日本機械輸出組合
- ・「リビア情勢と今後の展望」, 内閣官房内閣情報調査室, 2014.7, 国際情勢研究所
- ・「北アフリカの安全保障と米国の戦略—国際政治経済学的視点から—」, 中東の国際関係・国際安全保障 (MEIRIS) 研究会, 2013.10, 慶応義塾大学
- ・「緊迫する中東情勢と米国の戦略」, 平成 25 年度第 4 回エマージング市場委員会, 2013.9, 日本機械輸出組合
- ・「エジプト : クーデターと移行軍事政権」, 平成 25 年度第 3 回エマージング市場委員会, 2013.7, 日本機械輸出組合
- ・「中東地域の地政学的展望とリスク要因—シェールガス革命が変えるアメリカと中東の政治力学—」, JBIC 国

- 国際協力銀行アラブ首長国連邦・ドバイ駐在員事務所, 2013.1, JBIC 国際協力銀行、アラブ首長国連邦、ドバイ・「新時代への挑戦—北アフリカの政治課題と経済の中期見通し」, 平成 24 年度第 4 回エマージング市場委員会, 2012.9, 日本機械輸出組合
- ・「アラブの春」後のマグレブ情勢と中期展望」, JBIC 国際協力銀行フランス・パリ駐在員事務所, 2012.9, JBIC 国際協力銀行、フランス、パリ
  - ・「中東・湾岸情勢と政治経済に与える影響」, JBIC 国際協力銀行 外国審査部, 2011.12, JBIC 国際協力銀行
  - ・「激動の中東・北アフリカ—最新のチュニジア・エジプト・リビア・シリア情勢と今後の展望」, 平成 23 年度第 6 回エマージング市場委員会, 2011.11, 日本機械輸出組合
  - ・「リビア情勢と今後の国際社会」, TBS ニュースバード 24 時 解説, 2011.10, TBS
  - ・「カダフィ亡き後のリビア情勢と今後の中東および国際情勢について」, NHK BS ワールド Wave 解説, 2011.10, NHK
  - ・「リビアをめぐる国際情勢について」, NHK 総合ニュースウオッチ9 解説, 2011.8, NHK
  - ・「中東情勢の今後の展望と国際政治・経済に与える影響」, 平成 23 年度アジア市場委員会, 2011.7, 日本機械輸出組合大阪支部
  - ・「中東民主化の行方：リビアおよび湾岸情勢の今後と経済に与える影響」, 平成 23 年度第 1 回エマージング市場委員会, 2011.5, 日本機械輸出組合
  - ・「マグレブ諸国情勢と今後の展望」, 「混迷する中東・北アフリカ情勢と今後の展望」内閣官房内閣情報調査室審議会, 2011.5, 国際情勢研究所
  - ・「チュニジア、リビア、アルジェリアの民主化」, 中東の民主化を考える東京大学公開セミナー, 2011.3, 東京大学本郷キャンパス法文 2 号館
  - ・「中東民主化・新しい時代へ—国際政治・経済に与える影響と今後の展望—」, 平成 22 年度第 10 回エマージング市場委員会, 2011.3, 日本機械輸出組合
  - ・「北アフリカ情勢分析」, NHK BS おはよう世界 解説, 2011.2, NHK
  - ・「リビアの抗議デモ、民主化の動きについて」, テレビ東京 NEWS FINE 解説, 2011.2, テレビ東京
  - ・「リビア情勢について」, NHK 国際放送局 NEWS アンクル 解説, 2011.2, NHK
  - ・「中東・北アフリカでの反体制運動と今後の行方」, フジテレビ BS プライムニュース 解説, 2011.2, フジテレビ
  - ・「中東情勢について」, CS 朝日ニュースター 解説, 2011.2, テレビ朝日
  - ・「非対称情報と持続する権威主義体制：民主化の岐路」, 2010 年度日本比較政治学会, 2010.6, 東京外国語大学府中キャンパス
  - ・「ブーテフリカ大統領 3 選：アルジェリアの民主化の現状と今後の課題」, 2009 年度「中東政治の構造変容」中東民主化研究班第 1 回研究会, 2009.7, 東京大学
  - ・「選挙、民主化、民主主義の定着—中東・北アフリカにおける民主化の実態と独裁の均衡」, 日本中東学会第 24 回年次大会, 2008.5, 千葉大学
  - ・「革命 20 周年—ベン・アリ政治と民主化」, 2007 年度「中東政治の構造変容」中東民主化研究班第 3 回研究会, 2008.1, 東京大学
  - ・「Realité de la Démocratisation du Moyen-Orient et l'Afrique du Nord」, Séminar de RI organisé par Sciences-Po Paris, 2007.4, L'Institut d'Études Politiques de Paris

[一般雑誌等への論文・記事等の掲載]

- ・「イランを追いつめたトランプの「後始末」『エコノミスト』, 毎日新聞出版株式会社, 2021.1.26

- ・「イスラエルと UAE 国交正常化 選挙目当てトランプ外交の危うさ」『エコノミスト』, 毎日新聞出版株式会社, 2020.9.29
- ・「イスラエルと UAE 国交正常化は米国の悪夢」『エコノミスト』, 毎日新聞出版株式会社, 2020.9.1
- ・「世界の潮 リビア 終わりなき戦争—周辺国の代理戦争の場に」『世界』, 岩波書店, 2020.8.1
- ・「特集 コロナ危機の経済学 国家をしのご「超企業」の時代 揺らぐ既存国家の「虚構」」『エコノミスト』, 毎日新聞出版株式会社, 2020.6.2
- ・「新興国通貨にラマダンの影 モスク礼拝 コロナ感染拡大に警戒感」『日経ヴェリタス』, 日本経済新聞社, 2020.4.26
- ・「新興国通貨、ラマダンのジレンマ コロナ感染の温床に」『日本経済新聞電子版』, 日本経済新聞社, 2020.4.22
- ・「米イラン対立の行方 無秩序地域拡大、米の重荷に」『昭和経済』, 公益社団法人 昭和経済会, 2020.3
- ・「基礎からわかる米国の中東関与 4 ステップ」『エコノミスト』, 毎日新聞出版株式会社, 2020.2.18
- ・「経済教室 米イラン対立の行方 無秩序地域拡大、米の重荷に」『日本経済新聞』, 日本経済新聞社, 2020.1.16 朝刊
- ・「トランプの危険なイラン挑発 中東で米露の代理戦争リスク」『エコノミスト』, 毎日新聞出版株式会社, 2019.6.4
- ・「揺れる世界秩序「キングメーカー」ロシアの企図 過去最大の極東軍事演習 新冷戦とドル・原油・金」『エコノミスト』, 毎日新聞出版株式会社, 2018.11.27
- ・「緊急 私はこう見る サウジアラムコ IPO 断念 サウジはサウジ王家の家／アラムコとサウジは運命共同体」『エコノミスト』, 毎日新聞出版株式会社, 2018.9.25
- ・「2018 年世界経済下期マーケット予測 米国のイラン核合意離脱「核開発」競争の現実味」『エコノミスト』, 毎日新聞出版株式会社, 2018.7.3
- ・「北朝鮮にとって「米国との融和」は自殺行為だ」『東洋経済 ONLINE』, 東洋経済新報社, 2018.6.27
- ・「「中東の憎悪」がなぜか欧州に向かう根本理由 戦火の「欧州・中東200年史」から読み解く」『東洋経済 ONLINE』, 東洋経済新報社, 2018.6.8
- ・「経済教室 混迷深まる中東（下）国際法運用に「大国の論理」」『日本経済新聞』, 日本経済新聞社, 2018.6.5 朝刊
- ・「時事深層 シリア 重層的に錯綜する周辺国の利害」『日経ビジネス』, 日経 BP 社, 2018.5.7
- ・「国内に広がる異例の反政府デモ ハメネイ体制崩壊の始まり」『エコノミスト』, 毎日新聞出版株式会社, 2018.1.31
- ・「2018 世界経済総予測 中東情勢 サウジの内憂外患」『エコノミスト』, 毎日新聞出版株式会社, 2018.1.9
- ・「美術館とソフトパワー」『NACT Review 国立新美術館研究紀要 No.4』, 国立新美術館, 2017.12.26
- ・「ひと&こと ユネスコ新事務局長選出「脱退」米の説得つながるか」『エコノミスト』, 毎日新聞出版株式会社, 2017.10.31
- ・「深層レポート 中東の新火薬庫 クルド自治区の明日」『週刊東洋経済』, 東洋経済新報社, 2017.10.28
- ・「日経 BP インタビュー 偉人は何を思う 「新渡戸稲造が国連事務総長だったら 北朝鮮、ロヒンギャ難民問題を考える」」『日経ビジネス ONLINE』, 日経 BP 社, 2017.9.29
- ・「イラク・モスル陥落 指導者失い統制不能の IS テロが世界に拡散の危機」『エコノミスト』, 毎日新聞出版株式会社, 2017.8.7
- ・「巻頭言 日本よ、今こそ地政戦略を研ぎ澄ませ」『旬刊 経理情報』, 中央経済社, 2017.6.10
- ・「経済教室 仏大統領選後の EU と世界（下）国家、市民の安全に責任を」『日本経済新聞』, 日本経済新聞社, 2017.5.18 朝刊
- ・「フランス大統領選 マクロン勝利に安堵できない EU の正念場はまだ続く」『エコノミスト』, 毎日新聞出

版株式会社, 2017.5.15

- ・「〔特集〕空爆・テロ・欧州 フランス 極右の資金源となった欧州議会 各国の「懐疑派」躍進の舞台に」『エコノミスト』, 毎日新聞出版株式会社, 2017.4.25
- ・「〔特集〕空爆・テロ・欧州 「ミュンヘン会談」の轍を踏まなかったトランプ」『エコノミスト』, 毎日新聞出版株式会社, 2017.4.25
- ・「エコノミストレポート 「沸騰都市」バクーを行く 資源に群がる欧米 VS 中露の攻防激化 ユーラシアを制する者が覇権を握る」『エコノミスト』, 毎日新聞出版株式会社, 2017.2.21
- ・「〔中東〕米国第一で臨むトランプ氏 長期的には米国の地位が失墜」『エコノミスト』, 毎日新聞出版株式会社, 2017.1.10
- ・「〔日本人に見えなかった中東の真実〕連載 13 (最終回) なぜ、日本は中東が必要なのか？」『エコノミスト』, 毎日新聞出版株式会社, 2016.12.6
- ・「〔日本人に見えなかった中東の真実〕連載 12 イスラム教国家に自由はないのか？」『エコノミスト』, 毎日新聞出版株式会社, 2016.11.29
- ・「〔日本人に見えなかった中東の真実〕連載 11 なぜ、欧州で極右勢力が支持されるのか？」『エコノミスト』, 毎日新聞出版株式会社, 2016.11.22
- ・「〔日本人に見えなかった中東の真実〕連載 10 なぜ、シリア問題は終結しないのか？」『エコノミスト』, 毎日新聞出版株式会社, 2016.11.15
- ・「〔日本人に見えなかった中東の真実〕連載 9 なぜ、中国は中東に接近しているのか？」『エコノミスト』, 毎日新聞出版株式会社, 2016.11.8
- ・「〔日本人に見えなかった中東の真実〕連載 8 なぜ、サウジとイランは国交断絶したのか？」『エコノミスト』, 毎日新聞出版株式会社, 2016.11.1
- ・「〔日本人に見えなかった中東の真実〕連載 7 なぜ、中東・北アフリカは民主化が進まない？」『エコノミスト』, 毎日新聞出版株式会社, 2016.10.25
- ・「〔日本人に見えなかった中東の真実〕連載 6 なぜ、リビアは40年間も独裁国家だったのか？」『エコノミスト』, 毎日新聞出版株式会社, 2016.10.18
- ・「〔日本人に見えなかった中東の真実〕連載 5 なぜ、ISのテロが続くのか？」『エコノミスト』, 毎日新聞出版株式会社, 2016.10.11
- ・「〔日本人に見えなかった中東の真実〕連載 4 なぜ、フランスでテロが起こったのか？」『エコノミスト』, 毎日新聞出版株式会社, 2016.10.4
- ・「〔日本人に見えなかった中東の真実〕連載 3 なぜ、石油はドルで取引されるのか？」『エコノミスト』, 毎日新聞出版株式会社, 2016.9.27
- ・「〔日本人に見えなかった中東の真実〕連載 2 なぜ、米国はイスラエルに肩入れするのか？」『エコノミスト』, 毎日新聞出版株式会社, 2016.9.20
- ・「〔日本人に見えなかった中東の真実〕連載 1 なぜ、パレスチナでは紛争が絶えないのか？」『エコノミスト』, 毎日新聞出版株式会社, 2016.9.13
- ・「〔特集〕英国EU離脱の衝撃 100年前の密約 中東混乱の根源はサイクス・ピコ協定 英国の「三枚舌外交」の罪と罰」『エコノミスト』, 毎日新聞出版株式会社, 2016.7.4
- ・「ベルギー連続テロの衝撃」『昭和経済』, 公益社団法人 昭和経済会, 2016.7
- ・「2016 年中近東情勢の展望」『JMC ジャーナル』, 日本機械輸出組合, 2016.5
- ・「経済教室 ベルギー連続テロの衝撃 (下) 『イスラム国』排除後の姿描け」『日本経済新聞』, 日本経済新聞社, 2016.4.5 朝刊
- ・「中東の民主化は本当に不可能なのか」『東洋経済』, 東洋経済新報社, 2016.2.22



- ・「イラン制裁解除 高まる原油安リスク 厳しい中東の国家運営」『エコノミスト』, 毎日新聞出版株式会社, 2016.2.2
- ・「産油国、危機的な財政難」『日経ヴェリタス』, 日本経済新聞社, 2016.1.24
- ・「サウジアラビア VS イラン—開戦のない「危機」の理由」『The Platnews』, 2016.1.15
- ・「テロに屈しないEU を保てるか パリ同時多発テロ」『エコノミスト』, 毎日新聞出版株式会社, 2015.12.1
- ・「欧州・中東・アフリカで続発する国家非常事態宣言<世界を震撼させる IS テロ>」『The Platnews』, 2015.11.26
- ・「経済教室 パリ同時テロが示すもの（上）米仏、アラブ諸国と連携を」『日本経済新聞』, 日本経済新聞社, 2015.11.24 朝刊
- ・「経済教室 後退する『アラブの春』（上）『国家』『米欧民主主義』を懐疑」『日本経済新聞』, 日本経済新聞社, 2015.5.11 朝刊
- ・「シェール革命が推進する米国の世界戦略」『中央公論』, 中央公論新社, 2015.4.10
- ・「中東戦争 パレスチナ・イスラエル対立の歴史 第4次中東戦争から石油危機に」『エコノミスト』, 毎日新聞社, 2015.3.24
- ・「論考 「アラブの春」のモデル狙ったか」『朝日新聞』, 朝日新聞社, 2015.3.21 朝刊
- ・「表現の自由とイスラム排斥懸念 背景に貧しい移民の経済格差」『エコノミスト』, 毎日新聞社, 2015.1.27
- ・「最近の中東情勢と今後の展望—地中海・北アフリカ・湾岸諸国の情勢と今後の見通し—」『JMC ジャーナル』, 日本機械輸出組合, 2014.11
- ・「アジア重視とシェールで手薄の中東 怪物「イスラム国」は米国が生んだ」『エコノミスト』, 毎日新聞社, 2014.9.16
- ・「特集地政学リスクと資源争奪 スエズ運河とアラブの春」『エコノミスト』, 毎日新聞社, 2014.4.15
- ・「特集地政学リスクと資源争奪 ロシアの天然ガス EU との「冷たい戦い」」『エコノミスト』, 毎日新聞社, 2014.4.15
- ・「土曜特集 「Gゼロ」世界と新たな国際秩序 インタビュー」『公明新聞』, 公明党機関紙局, 2014.3.29 朝刊
- ・「集団的自衛権の行使」『東京新聞』, 中日新聞東京本社, 2014.3.5 朝刊
- ・「米国の中東・北アフリカ政策 覇権掌握と秩序構築狙うも模索続く」『エコノミスト』, 毎日新聞社, 2014.2.4
- ・「2014年中東情勢の展望」『JMC ジャーナル』, 日本機械輸出組合, 2014.2
- ・「欧州に倣う我が国の多角的エネルギー戦略」『JMC ジャーナル』, 日本機械輸出組合, 2013.10
- ・「中東和平 難航必至の交渉とオバマ大統領の思惑」『エコノミスト』, 毎日新聞社, 2013.8.27
- ・「エジプト：クーデターと移行軍事政権の今後について」『JMC ジャーナル』, 日本機械輸出組合, 2013.8
- ・「国際安全保障におけるトルコの重要性と米欧の痛手」『エコノミスト』, 毎日新聞社, 2013.6.25
- ・「Gゼロで生まれる権力の真空地帯 アルジェリアと資源と日本」『エコノミスト』, 毎日新聞社, 2013.2.12
- ・「アルジェリアと45年 揺らぐ絆」『読売新聞』, 読売新聞社, 2013.1.23 夕刊
- ・「2013年マーケット総予測 新たな世界秩序 国家を超えて加速するパワーシフト 時代は米国覇権から G3体制へ」『エコノミスト』, 毎日新聞社, 2012.12.25
- ・「イスラエルのガザ空爆 政権への不満をそらす強硬策 対イランで米国牽制の思惑も」『エコノミスト』, 毎日新聞社, 2012.12.4
- ・「国連武力介入の可能性と周辺波及するシリア問題」『JMC ジャーナル』, 日本機械輸出組合, 2012.11
- ・「中東に忍び寄る危機 小麦に散った独裁政権 食料価格は政治の生命線」『エコノミスト』, 毎日新聞社, 2012.10.2
- ・「資源と政治・宗教 シェールガス革命で変わる米国、イスラエル、中東の力学」『エコノミスト』, 毎日新聞社, 2012.9.4
- ・「米欧がイラン経済制裁を強化 イスラエル単独攻撃観測も」『エコノミスト』, 毎日新聞社, 2012.7.17

- ・「エジプト権力闘争激化へ 周辺国家への経済的波紋」『JMC ジャーナル』, 日本機械輸出組合, 2012.7
- ・「チュニジアの民主化と国際社会」『歴史地理教育』, 歴史教育者協議会, 2012.6.1
- ・「イラン・中東 イランの核開発と原油高騰問題の行方」『エコノミスト』, 毎日新聞社, 2012.5.8
- ・「緊張が高まるシリアとイラン」『JMC ジャーナル』, 日本機械輸出組合, 2012.4
- ・「「石油」に翻弄されてきたリビア」『青淵』, 公益財団法人 渋沢栄一記念財団, 2012.3.1
- ・「混迷を深めるシリア、再生へ向けて手探りが続く北アフリカ」『JMC ジャーナル』, 日本機械輸出組合, 2012.3
- ・「アラブの春 目指すのはトルコ型の民主化だが、手探りが続く」『エコノミスト』, 毎日新聞社, 2012.2.13
- ・「エコノミストレポート 2012 年の中東 拡大するイラン・シーア派と流動化する湾岸情勢」『エコノミスト』, 毎日新聞社, 2012.1.17
- ・「チュニジア制憲議会選挙を受けて」『JMC ジャーナル』, 日本機械輸出組合, 2011.12
- ・「エマーングリサーチ アルジェリア 産業育成 成長持続の焦点」『日経ヴェリタス』, 日本経済新聞社, 2011.10.30
- ・「チュニジア イスラム化は誤解」『毎日新聞』, 毎日新聞社, 2011.10.29 朝刊
- ・「パレスチナ問題 国連加盟申請で緊迫 米国の二重外交も限界に」『エコノミスト』, 毎日新聞社, 2011.10.18
- ・「エコノミストレポート リビア崩壊と中東・北アフリカの政治力学 欧米諸国のご都合主義を排せるか」『エコノミスト』, 毎日新聞社, 2011.9.27
- ・「カダフィ体制崩壊 国内政治に忙しい欧米 リビア新体制確立は困難か」『エコノミスト』, 毎日新聞社, 2011.9.6
- ・「エコノミストレポート 展望なき北アフリカ・中東「民主化」の行方」『エコノミスト』, 毎日新聞社, 2011.7.4
- ・「民主化の行方」『JMC ジャーナル』, 日本機械輸出組合, 2011.7
- ・「中東民主化・新しい時代へ」『JMC ジャーナル』, 日本機械輸出組合, 2011.5
- ・「エマーングリサーチ 南アフリカ 新興国との貿易伸ばせるか」『日経ヴェリタス』, 日本経済新聞社, 2011.4.24
- ・「債務危機はあるか ジャスミン革命は欧米金融機関に大打撃」『エコノミスト』, 毎日新聞社, 2011.4.5
- ・「米国の葛藤 ご都合主義は許されなくなったアメリカの中東政策」『エコノミスト』, 毎日新聞社, 2011.3.22
- ・「誰も殺さない国になって」『朝日新聞』, 朝日新聞社, 2011.2.25 夕刊
- ・「民意読めぬ独裁者」『毎日新聞』, 2011.2.23 朝刊
- ・「エジプト・ムバラクを降ろさせた景気の悪化とインターネット」『エコノミスト』, 毎日新聞社, 2011.2.7
- ・「エマーングリサーチ ナイジェリア 脱・原油依存、カギ握る中国」『日経ヴェリタス』, 日本経済新聞社, 2011.1.30